

せんかん やまと がた たんしょうとう 戦艦「大和」型の探照灯



探照灯（サーチライト）は、夜、暗い中で相手の船や飛行機を見つけ出したり、点灯することで相手に信号を送ったりするために備え付けられていました。

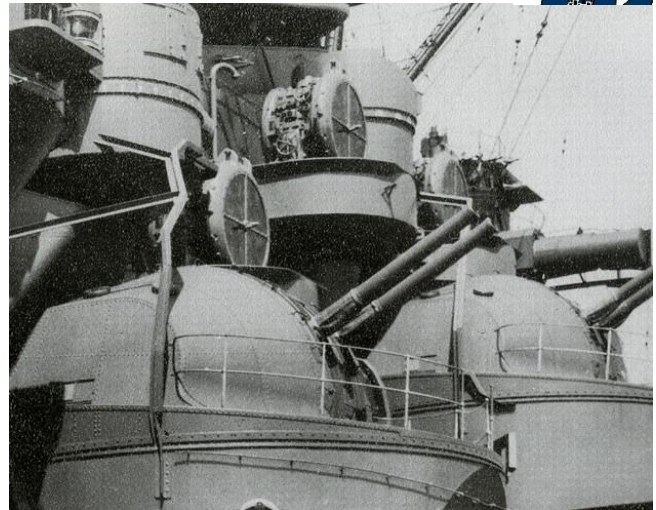
戦艦「大和」の探照灯は、とても明るい光を出すことができる光源（アーク灯）と、反射鏡¹が取り付けられていました。この反射鏡は直径 1.5 メートルで、日本海軍の探照灯の中で最も大きいものでした。

大和ミュージアムに展示している探照灯は、「大和」型戦艦の予備品でした。戦後は、太陽光を集める「集光器」として活用されていたもので、近代化産業遺産・日本遺産に認定されています。



大和型「戦艦」探照灯

戦艦「武蔵」は「大和」と同じ型（タイプ）の戦艦だよ！



戦艦「武蔵」の探照灯

¹ 光をまっすぐ届けるためのもの。